

★★★講演会情報★★★

★第312回ゴム技術シンポジウム

「基礎から応用技術で見るゴムのトライボロジーⅦ」

ゴム・エラストマーのトライボロジーの基礎的現象の理解を助けるとともに、その応用につながる新規技術のご紹介。

2026年1月21日（水）10時20分～17時05分

東部ビル5Fとオンライン（ZOOM）によるハイブリッド開催

会員・協賛団体会員24,200円、ゴム協会学生会員無料、シニア制度対象会員12,100円（60歳以上の正会員）非会員33,000円

会場（東部ビル）35名

主催 一般社団法人日本ゴム協会

★「第24回成形加工実践講座シリーズ（金型・CAE編）」

若手技術者を主なターゲットとして、材料、成形、金型、CAEの4つの分野で成形加工実践講座を開催する。射出成形を中心に金型内における成形現象とその計測・解析技術ならびに射出成形CAEを使いこなすための基礎知識、成形現象の制御による成形品の高機能化について実践講座を企画。現地参加者の特典として、講師の先生方との技術相談会の時間が設けられている。

2026年1月23日（金）10時00分～16時50分

きゅりあん4F第1特別講習室、オンラインによるハイブリッド開催

会員・賛助会員15,000円、学生会員1,000円、協賛学協会員25,000円、非会員30,000円、学生非会員3,000円

会場30名、オンライン100名

主催 一般社団法人プラスチック成形加工学会

★第42回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス

2026年1月27日（火）～1月28日（水）

東京大学生産技術研究所（駒場Ⅱキャンパス）

主催 公益社団法人エネルギー・資源学会

★K I S T E C教育講座 「高分子材料を進化させる表面・界面制御解析の最前線」～高分子材料の構造解析と機能評価の最前線へ～

2026年2月6日（金）10時00分～17時20分

かながわサイエンスパーク内 講義室

26,000円

20名（先着順）

- （1）表面・界面の構造や物性をより詳しく知りたい高分子材料の研究開発者
- （2）高分子（化学）について、より詳しく知りたい分析研究者～材料開発者の期待する結果がわからず、適切な試料や測定手段・条件の設定が難しい方
- （3）社内の分析技術では解決できない課題をお持ちの研究開発の若手リーダー

主催 地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所

★第31回型技術シンポジウム 自動車生産に関わる現状と将来

2026年2月18日（水）13:25-17:20

ビジョンセンター虎ノ門 溜池山王 6階601室（東京都港区赤坂1-1-12 明産溜池ビル）

地政学的リスクの高まりや環境規制と脱炭素への対応等、国内の製造業を取り巻く環境は激変しており、その対応としてグリーン技術への転換や国際標準への適応等の技術課題が喫緊の課題として挙げられる。このような状況において、金型業界においてはデジタル、スマートファクトリー化、高精度、高難度加工技術の開発等の技術面での対応に加えて、市場・顧客対応や人材・組織面での対応も必要となる。

本シンポジウムは日本の基幹産業である自動車業界における金型技術を取り上げ、製品の大型一体化技術、高精密技術およびAI技術による金型づくりとその技術課題について各社の現在の取り組みや今後の展望について紹介する。

「ギガキャストの技術動向と課題」リョービ(株) ダイカスト企画開発本部 研究開発部 参与 神重 傑 氏

「『創造性』の地殻変動：『with AI』が溶解させる『壁』と価値創出の新世界」(株)日南 取締役 デザイン・エンジニアリングデビジョン統括本部長 猿渡義市 氏

「日産自動車における生産DX」日産自動車(株) 生産技術研究開発センター 守屋岳志 氏

「電動化シフトとパワートレイン金型の革新トレンド」(株)アイシン 生産技術本部 樹脂生技部 金型技術室 室長 加藤拓也 氏

会員 15,000円 一般 30,000円

100名

申込締切 2月5日 オンライン申込

主催 一般社団法人型技術協会

TEL 045-224-6081 E-mail info@jsdmt.jp

★第164回 型技術セミナー「モーターコア（板鍛造）製造プロセスと最新の表面処理技術動向について」

2026年2月20日（金）10:00-16:30

BIZrium名古屋 4階 Conference A（名古屋市西区則武新町3丁目1-17）

近年表面（蒸着）処理技術は、半導体、エレクトロニクス、航空機、自動車など幅広い分野で使われている。市場が拡大する一方、表面処理に関連する要素技術知識は、プレス成形、金型精度、素材（熱処理等）、潤滑油、ショットピーニング及びコーティングと多岐に渡り各々の関係性を理解しなければならない。2025年4月～当該研究会で次世代自動車部品にターゲットを絞り、鉄、非鉄、電磁鋼板等を成形する金型の寿命延長に対して表面処理及び油剤がどのような効果があるのかを追及するワーキンググループを立ち上げました。

そこで本セミナーでは、第一線の自動車、部品、材料で活用されておられるモーターコアに関する技術者及びワーキンググループ長をお招きし、次世代自動車部品の必要性、その塑性加工技術及び表面

処理関連技術の課題や最新活用事例をご紹介します。及び活動を報告致します。

本セミナーを聴講することで、次世代の自動車ニーズを理解し、表面処理関連技術の利点や欠点を理解し、品質と生産性の両方を向上させる生産性向上の提案に役立つのではないかと期待されます。多くの皆様の聴講をお待ちしております。

「摩擦摩耗低減に向けたトライボロジーの基礎と金型技術への展開」京都大学 大学院工学研究科 教授 平山朋子 氏

「鉄基アモルファス積層コアの実用化に向けた加工技術開発事例について」(株)小松精機工作所 研究開発部 次長 鈴木洋平 氏

「HiPIMSを更に進化させたS3p (Scalable Pulsed Power Plasma、拡張可能パルス出力プラズマ) の特性と実績」エリコンジャパン(株) ツール事業部 プロダクトマネージャー フォーミングツールズ 大崎隆史 氏

「超短パルスレーザによるマイクロテクスチャ形成技術」(株)リプス・ワークス受託加工Gr グループ長代理兼営業責任者 大竹俊介 氏

「界面反応調査活動報告」京都大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 修士課程 中井翔大 氏

「界面反応（表面処理）技術の潜在ニーズ」パネル討論会 エスジーコーティングサービス(株)福井茂雄 氏 他 講師全員)

いずれもテキスト1冊を含む

会員 21,000円 学生会員 1,000円 一般 31,000円

40名

申込締切 2月9日 オンライン申込

主催 一般社団法人型技術協会

TEL 045-224-6081 E-mail info@jsdmt.jp

★第11回初心者にもわかる信頼性工学セミナー（オンライン）

第1日 2026年2月26日（木）10:00－16:00

第2日 2026年2月27日（金）10:00－16:00

オンライン開催（使用ツールはZOOMを予定）

近年、材料・構造物の強度や安全性、環境適合性に対する社会的要望が一段と高まっています。単に力学的な強度だけでなく、材料・構造物の幅広い機能に対する信頼性確保のための研究・技術開発が、活発に展開されています。

また、材料・構造物に対する負荷については不規則な場合も多く、製品の信頼性保証という品質経営にも直結するため、信頼性工学の果たすべき役割は一段と重要になっています。応用範囲の幅が広く対象要素が多岐にわたる信頼性工学の分野においては、狭い視点に偏ることなく常に広い視野をもつための多様性が求められています。

本学会信頼性工学部門委員会では、昭和52年以来、「安全性・信頼性」を共通のバックボーンとして多様な分野の研究者・技術者が一堂に会し、研究討論などの学術交流や情報交換を行う場を提供

してきました。

信頼性工学では、寿命など未来を推測するための有効なツールとして主に確率や統計を用います。本セミナーでは、第1日にデータを集計・グラフ化してデータの諸元を見る基本統計量と確率から始まり、確率変数と確率分布、母数の推定と仮説の検定など、確率と統計のキホンのキから学べるようになっていきます。また第2日では、基本的な信頼性の特性値、信頼性設計の基礎となるシステム信頼性、製品寿命を評価する信頼性手法の中でよく使われるワイブル確率紙の原理とその解析方法、および疲労試験で必ず利用されるS-N曲線回帰法を学びます。データを分析するマニュアル的な手順を示すだけでなく、その理論や例題を含めて基礎から分かり易く説明しますので、基本的なデータ分析と信頼性手法を修得できます。

第1日と第2日のいずれか1日のみ受講することも可能です。もちろん両日とも受講できます。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1日あたり50名

両日分 会員10,000円（学生2,000円） 非会員20,000円（学生4,000円）

1日分 会員6,000円（学生1,000円） 非会員12,000円（学生2,000円）

申込締切 2026年1月31日

材料学会信頼性工学部門委員会ホームページから

<https://sinrai.jsms.jp/>

主催 公益社団法人日本材料学会

TEL 075-761-5321

E-mail jimu@office.jsms.jp

郵便振替 01000-1-26625

★「AIと計測技術の融合による次世代ものづくりー基礎から応用までー」

AIは製造現場の多様なデータを活用し、作業の自動化や品質の安定化、属人性の排除に貢献する技術として注目されています。特に加工・計測分野では、画像解析やセンサーデータを用いた検査の自動化、機器診断、工程制御など、実務への応用が広がっています。本講習では、AI技術の基礎から導入時の課題、学習データの設計、品質保証との関係、加工・計測機器への応用事例まで、製造業における実践的な活用を体系的に紹介する。

2026年2月27日（金）10時00分ー16時50分、交流会17時00分ー18時30分

中央大学後楽園キャンパス2号館2階 2215、2221室、オンラインによるハイブリッド開催

会員・賛助会員22,000円、学生会員2,200円、非会員36,300円

会場60名、オンライン100名

主催 公益社団法人精密工学会

★第17回日本複合材料会議 JCCM-17

2026年3月3日（火）ー3月5日（木）

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

主催 公益社団法人日本材料学会

★ポリマーフロンティア21 高分子材料が切り拓く次世代モビリティの可能性

2026年3月6日（金）

オンライン開催

主催 公益社団法人高分子学会

★2026年塑性加工春季講演会

2026年3月18日（水）－3月20日（金）

静岡大学浜松キャンパス

テーマセッション講演と一般講演申込締切済

主催 一般社団法人日本塑性加工学会

★第31回型技術シンポジウム 自動車生産に関わる現状と将来

2026年2月18日（水）13:25－17:20

ビジョンセンター虎ノ門 溜池山王 6階601室（東京都港区赤坂1-1-12 明産溜池ビル）

地政学的リスクの高まりや環境規制と脱炭素への対応等、国内の製造業を取り巻く環境は激変しており、その対応としてグリーン技術への転換や国際標準への適応等の技術課題が喫緊の課題として挙げられる。このような状況において、金型業界においてはデジタル、スマートファクトリー化、高精度、高難度加工技術の開発等の技術面での対応に加えて、市場・顧客対応や人材・組織面での対応も必要となる。

本シンポジウムは日本の基幹産業である自動車業界における金型技術を取り上げ、製品の大型一体化技術、高精密技術およびAI技術による金型づくりとその技術課題について各社の現在の取り組みや今後の展望について紹介する。

「ギガキャストの技術動向と課題」リョービ(株) ダイカスト企画開発本部 研究開発部 参与 神重 傑 氏

「『創造性』の地殻変動：『with AI』が溶解させる『壁』と価値創出の新世界」(株)日南 取締役 デザイン・エンジニアリングデビジョン統括本部長 猿渡義市 氏

「日産自動車における生産DX」日産自動車(株) 生産技術研究開発センター 守屋岳志 氏

「電動化シフトとパワートレイン金型の革新トレンド」(株)アイシン 生産技術本部 樹脂生技部 金型技術室 室長 加藤拓也 氏

会員 15,000円 一般 30,000円

100名

申込締切 2月5日 オンライン申込

主催 一般社団法人型技術協会

TEL 045-224-6081 E-mail info@jsdmt.jp

★第164回 型技術セミナー「モーターコア（板鍛造）製造プロセスと最新の表面処理技術動向について」

2026年2月20日（金）10:00－16:30

BIZrium名古屋 4階 Conference A（名古屋市西区則武新町3丁目1-17）

近年表面（蒸着）処理技術は、半導体、エレクトロニクス、航空機、自動車など幅広い分野で使われている。市場が拡大する一方、表面処理に関連する要素技術知識は、プレス成形、金型精度、素材（熱処理等）、潤滑油、ショットピーニング及びコーティングと多岐に渡り各々の関係性を理解しなければならない。2025年4月ー当該研究会で次世代自動車部品にターゲットを絞り、鉄、非鉄、電磁鋼板等を成形する金型の寿命延長に対して表面処理及び油剤がどのような効果があるのかを追及するワーキンググループを立ち上げました。

そこで本セミナーでは、第一線の自動車、部品、材料で活用されておられるモーターコアに関する技術者及びワーキンググループ長をお招きし、次世代自動車部品の必要性、その塑性加工技術及び表面処理関連技術の課題や最新活用事例をご紹介及び活動を報告致します。

本セミナーを聴講することで、次世代の自動車ニーズを理解し、表面処理関連技術の利点や欠点を理解し、品質と生産性の両方を向上させる生産性向上の提案に役立つのではないかと期待されます。多くの皆様の聴講をお待ちしております。

「摩擦摩耗低減に向けたトライボロジーの基礎と金型技術への展開」京都大学 大学院工学研究科 教授 平山朋子 氏

「鉄基アモルファス積層コアの実用化に向けた加工技術開発事例について」(株)小松精機工作所 研究開発部 次長 鈴木洋平 氏

「HiPIMSを更に進化させたS3p (Scalable Pulsed Power Plasma、拡張可能パルス出力プラズマ) の特性と実績」エリコンジャパン(株) ツール事業部 プロダクトマネージャー フォーミングツールズ 大崎隆史 氏

「超短パルスレーザによるマイクロテクスチャ形成技術」(株)リプス・ワークス受託加工Gr グループ長代理兼営業責任者 大竹俊介 氏

「界面反応調査活動報告」京都大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 修士課程 中井翔大 氏

「界面反応（表面処理）技術の潜在ニーズ」パネル討論会 エスジーコーティングサービス(株)福井茂雄 氏 他 講師全員)

テキスト1冊を含む

会員 21,000円 学生会員 1,000円 一般 31,000円
40名

申込締切 2月9日 オンライン申込

主催 一般社団法人型技術協会

TEL 045-224-6081 E-mail info@jsdmt.jp

★第17回日本複合材料会議（JCCM-17）

2026年3月3日（火）ー3月5日（木）

立命館大学 大阪いばらきキャンパス

主催 公益社団法人日本材料学会

★ポリマーフロンティア21 高分子材料が切り拓く次世代モビリティの可能性

2026年3月6日（金）

オンライン開催

主催 公益社団法人高分子学会

★プラスチック成形加工学会年次大会

今大会のスローガンは「Beyond Limits:材料・加工技術とデータで描く次世代社会」としました。このスローガンには、私たちがこれまでの技術の枠組みを超え、材料の可能性を追求し、加工技術とデータサイエンスの融合によって未来社会を形作るという挑戦の精神が込められています。プラスチック産業は、自動車、電機機器、情報通信、包装材料、さらにはコンピュータやデータサイエンスといった多岐にわたる分野で欠かせない存在となり、現代社会の基盤を支えています。特に近年では、環境負荷低減や持続可能性への対応が求められ、リサイクル性や生分解性を備えた新素材の開発が急務となっています。

また、データサイエンスやAI技術の進展により、成形加工のプロセスは大きな変革を迎えています。これまで経験と勘に頼っていた設計や加工が、データ駆動型のアプローチへと移行し、効率化と高精度化が進んでいます。本大会では、こうした技術革新を共有し、次世代社会のビジョンを描く場としたいと考えています。

今回の年次大会では、近年注目の技術に関する4つの特別セッションを予定しており、これからの新しい成形加工技術について議論を深めてまいります。

また、特別講演では、これからの安全で豊かな未来社会の実現に向けて、避けては通れない自動車リサイクルの最新動向ならびにリサイクル技術に関して、一般社団法人日本自動車リサイクル機構の阿部知和氏からご講演いただく予定です。これらの講演が、参加者の皆様に新たな知見を提供し、未来へのインスピレーションを与えられる年次大会となるよう努めてまいります。年次大会の詳細につきましては、本WEBサイトや学会誌会告にてお知らせいたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

第37回年次大会 実行委員長 城本 征治（住友化学）

2026年6月24日（水）－25日（木）

タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀4-1-1）

講演申込期間 2025年12月18日（木）－2026年1月23日（金）

予稿原稿投稿期間 2026年3月2日（月）－ 2026年4月17日（金）（予定）

参加登録期間 2026年3月23日（月）－ 2026年6月25日（木）ウェブ登録のみ

プログラム公開日 2026年5月20日（水）（予定）ウェブ公開版

講演予稿集発行日（公開日）2026年6月17日（水）（予定）ウェブ公開のみ

第37回年次大会事務局

e-mail annual2026@jspp.or.jp

主催 一般社団法人プラスチック成形加工学会

TEL 03-5436-3822

e-mail（代表） office@jspp.or.jp

★「型技術者会議2026」テーマはあなたとつくる未来の「型（かたち）」

2026年6月25日（木）－26日（金）

AP浜松町

- (1) 講演申込締切 2026年1月26日(月)
- (2) 講演論文原稿締切 2026年4月6日(月)
- (3) 講演申込 ホームページよりオンライン

型技術協会のホームページをご確認ください。

主催 一般社団法人型技術協会

★★★講演会詳細は各団体のホームページにてご確認ください★★★

(日本合成樹脂技術協会会員と申し出れば各団体会員扱いになるところがあります)